

評価規準（令和2年度） 【理科】 6 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
●地球と私たちの暮らし		思判表① 人と環境について考察する中で、人と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	態① 人と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
1 物の燃え方と空気	知技① 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。 知技② 燃焼の仕組みについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	思判表① 燃焼の仕組みについて見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 燃焼の仕組みについて、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	態① 燃焼の仕組みについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
2 動物のからだのはたらき	知技① 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。 知技② 食べ物、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解している。 知技③ 血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。 知技④ 体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。 知技⑤ 人や他の動物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	思判表① 人や他の動物の体のつくりと働きについて見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 人や他の動物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	態① 人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

3 植物のからだのはたらき	知技① 植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解している。 知技② 根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解している。 知技③ 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	思判表① 植物の体のつくりと働きについて見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	態① 植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
4 生き物のくらしと環境	知技① 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 知技② 生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。 知技③ 生物と環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	思判表① 生物と環境について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 生物と環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	態① 生物と環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 生物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
5 月の形と太陽	知技① 月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 知技② 月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	思判表① 月の形の見え方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 月の形の見え方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	態① 月の形の見え方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
6 大地のつくり～大地のつくりと変化 1～	知技① 土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。 知技② 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解している。 知技③ 土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 知技④ 土地のつくりと変化について、観察、実	思判表① 土地のつくりと変化について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 土地のつくりと変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	態① 土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

	験などの目的に応じて，器具や機器などを選択して，正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を適切に記録している。		
7 変わり続ける大地～大地のつくりと変化 2～	知技① 土地は，礫，砂，泥，火山灰などからできており，層をつくって広がっているものがあること，また，層には化石が含まれているものがあることを理解している。 知技② 地層は，流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解している。 知技③ 土地は，火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 知技④ 土地のつくりと変化について，観察，実験などの目的に応じて，器具や機器などを選択して，正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	思判表① 土地のつくりと変化について見いだした問題について，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 思判表② 土地のつくりと変化について，観察，実験などを行い，得られた結果を基に考察する中で，土地のつくりやでき方について，より妥当な考えをつくりだし，表現するなどして問題解決している。	態① 土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり，粘り強く，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
8 てこのはたらき	知技① 力を加える位置や力の大きさを変えると，てこを傾ける働きが変わり，てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。 知技② 身の回りには，てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 知技③ てこの規則性について，実験などの目的に応じて，器具や機器などを選択して，正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	思判表① てこの規則性について見いだした問題について，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 思判表② てこの規則性について，実験などを行い，得られた結果を基に考察する中で，力を加える位置や力の大きさとしてこの働きとの関係について，より妥当な考えをつくりだし，表現するなどして問題解決している。	態① てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり，粘り強く，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
9 電気と私たちの暮らし	知技① 電気は，つくりだしたり蓄えたりすることができると理解している。 知技② 電気は，光，音，熱，運動などに変換することができることを理解している。 知技③ 身の回りには，電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。 知技④ 電気の性質や働きについて，実験などの目的に応じて，器具や機器などを選択して，正	思判表① 電気の性質や働きについて見いだした問題について，予想や仮説を基に，解決の方法を発想し，表現するなどして問題解決している。 思判表② 電気の性質や働きについて，実験などを行い，得られた結果を基に考察する中で，電気の量と働きとの関係，発電や蓄電，電気の変換について，より妥当な考えをつくりだし，表現するなどして問題解決している。	態① 電気の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり，粘り強く，他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

	しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。		
10 水溶液の性質とはたらき	知技① 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。 知技② 水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。 知技③ 水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。 知技④ 水溶液の性質や働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	思判表① 水溶液の性質や働きについて見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 水溶液の性質や働きについて、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、溶けている物による性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	態① 水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
11 地球に生きる	知技① 人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 知技② 人の生活と環境との関わりについて、調査などの目的に応じて、資料などを選択して調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	思判表① 人の生活と環境との関わりについて見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 思判表② 人の生活と環境について、調査などを行い、得られた結果を基に考察する中で、人の生活と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	態① 人の生活と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 態② 人の生活と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。